

みらい

登校時の様子



食事の様子



行事の様子



9月29日(金)昼食メニュー
 ご飯 味噌汁(豆腐・ネギ)
 豚肉のみそ焼き ほうれん草の和え物
 フロッキーと海藻のサラダ
 卵焼き お茶

「東洋学園児童部」
 施設長 / 佐々木 雅弘
 (東洋学園成人部 施設長兼務)

福祉型児童入所施設は、通過施設として位置づけられているため成人期へつなぐ大きな役割があり、地域事業である定員型ショートステイ、市町村契約に伴う日中一時事業サービスを事業提供するにあたり沢山の笑顔のもと充実した食・住環境の提供、日常生活での会話、学業サポート、学校卒業に向けた相談など個別療育的な課題に向き合い、必要に応じて心理的サポートを心理士と連携しながら自己肯定感に自信が持てるよう対応しています。

幼稚園及び義務教育に関しては、いわき市教育委員会との連携や県立特別支援学校を利用しながら個々の能力を生かしたサポート体制を実践しています。特に卒業後の進路については、関係機関との連携のもと丁寧な対応を信条に対応しています。現在、定員の半分20名の児童が生活していますが、県内児童の利用が減少しており隣県への働きかけにより約半数が県外利用となっているなど運営上は厳しい状況にありますが一日一日を大切に生活しています。今後ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



令和2年・3年にも特集しましたが、改めて今回から数回にわたって当法人の施設・事業所を紹介します。第1回目は、就労継続支援B型事業所の2つ「ワークスペース・アシスト」と「せきれい」の紹介です。

ワークスペース・アシスト

南相馬市原町区桜井町1丁目99番地



定員30名で令和5年10月1日現在 35名(男性20名・女性15名)の方が通っています。

主な作業は、外部清掃作業(受託)、リネンクリーニング作業、各種企業からの受託作業です。

平均年齢は43歳ですが、外部作業にも積極的に取り組んでくれるパワフルで素敵男子が多数います。

もちろん作業も丁寧、女子力高めな素敵女子もたくさんいます。

お互いに助け合いながら、感謝の心を忘れず、日々楽しく過ごしています。

これからも皆さんが安心して楽しく作業ができるように支援してきたいと思ひます。



一日の主なスケジュール

- 8:30 来所 朝礼
- 9:00 午前の作業①
- 10:00 休憩
- 10:20 午前の作業②
- 12:00 昼休み
- 13:00 午後の作業①
- 14:10 休憩
- 14:30 午後の作業②
- 15:30 帰宅

ワークスペース・アシストの スローガン

- ア** →ありがとうございます。
- シ** →しあわせですと感謝の言葉。
- ス** →すてきな笑顔で!
- ト** →ともだちになろう!

事業所で利用者1人、1人が何事にも挑戦していきながら目標を掲げて行動に移せるように、職員1人、1人の力が大事である。

~One for all All for one~

ひとは、みんなの為に、みんなは、ひとりの為に日々考えながら事業所で取り組んでいきたいです。

リネンクリーニング作業



暑い日は室内が40°近くまで上がることも!
汗だくになりながら頑張っています。

受託作業



工程も多く、力も使います。
一つずつ確認しながら
間違いのないよう気を付けています。



様々な大きさの箱があり
折り方も違います。
マチをしっかりつけ
きれいな仕上がりを心掛けています。



天気を見計らい、市内数か所の
除草をしています。
手作業で丁寧に作業しています。

「就労継続支援B型事業所」とは、通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者の方に、生産活動の機会を提供し就労に必要な知識の習得、能力の向上のための訓練、支援を行う事業所です。

せきれい

いわき市四倉町字東1丁目 68-24



せきれい利用者と職員



せきれいは、令和元年5月にいわき市で事業を再開し、定員は40名で令和5年10月1日現在37名(男性25名・女性12名)の方が利用されています。

当初は多機能事業所でしたが、令和4年5月から生活介護支援事業を廃止して就労継続支援B型事業に絞り込み、せきれいのモットーである「利用者の人生の充実のための仕事と楽しみの両立への貢献」に向けて、工賃向上のための取り組みに加え、行事・レクリエーション等を利用者と職員が一緒に考えて実施しております。

仕事内容としては、住宅設備機器メーカーのシステムキッチンとシステムバス用部品の両面テープ貼りや袋詰め等の受託作業、梱包資材メーカーの段ボールの型抜き・穴あけ・組立て・結束等の受託作業と先方の工場における施設外就労をメインに皆で分担して行っています。

工賃平均月額については、令和元年度目標10,000円・実績11,391円でしたが、昨年度は目標20,000円・実績21,197円で今年度は目標22,000円とし、達成に向けて仕事量の確保と単価交渉に加え、新規案件の獲得に取り組んでいます。

協会理念の「慈・敬・愛」をベースに支援サービスの向上を図り、今後ともせきれいが笑顔あふれる事業所になるよう邁進してまいります。



一日のスケジュール

- 8:00 まで 送迎開始
- 8:50 まで 利用者出勤
- 9:00 職員ミーティング
- 9:15 作業
- 10:30 休憩
- 10:45 作業
- 12:00 昼休み
- 13:00 作業
- 14:15 休憩
- 14:30 作業
- 15:30 掃除・帰宅準備
- 15:40 終礼
- 15:45 帰宅(送迎開始)



段ボールばらし・穴あけ作業



第1作業室での作業風景
(主に住宅設備機器メーカーの受託作業)



梱包資材メーカーにおける施設外就労風景



住宅設備機器メーカーの小物部品の袋詰め作業

◎障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

障がい者入所支援施設

東洋学園成人部 いわき市(四倉町)

芸術の秋!

10月2日(月)の日中活動で秋の壁面制作を行いました。「芸術の秋!」ということで、折り紙や色画用紙を使ってぶどうを制作しました。皆さん真剣に取り組みながら、楽しく活動することができました。完成したぶどうを並べると、壁一面がおいしそうなぶどうでいっぱい!気温差が激しい季節ですが、たくさん食べ、たくさん運動して、秋を満喫しましょう!



東洋健生園 いわき市(内郷)

待ちに待った日帰り旅行!

9月7日(木)に1班の旅行で、猪苗代周辺に出かけてきました。午前中は猪苗代湖の遊覧船に乗り、清々しい風を感じながら景色を楽しみました。お昼には、海鮮陶板焼き御膳をいただきました。みなさん夢中になって食べていました。お昼の後は、磐梯高原南ヶ丘牧場に行きました。動物に触れあったり、名産のソフトクリームを食べたりして過ごしました。



東洋育成園 田村市(船引町)

日帰り外出♪

今年も3班に分かれて、ドライブ外出(日帰り旅行)に出かけてきました(1班:7月11日(火)、2班・3班:9月12日(火))。ドライブ先で立ち寄った道の駅で、出店があったので職員・利用者ともに興味津々でした。施設で食べたお弁当も「美味しいね〜」「ハンバーグだあ」と会話しながら楽しくいただきました。今年のドライブ外出も良い思い出になりました。



原町共生授産園 南相馬市(原町区)

野菜の収穫

7月25日(火)じゃがいもの収穫、9月12日(火)しし唐の収穫の日を迎えました。今年は、気温が高く晴れている日が多く、たくさん実りました。自分たちが一生懸命育てたじゃがいもとしし唐を収穫できて、大満足!雨にも暑さにも負けず成長をしてくれてありがとう。じゃがいもはフライドポテトにして美味しくいただきました。しし唐は後日美味しくいただきたいと思います。



そうま楽憩園 相馬市(赤木)

初めての社会見学旅行!

9月17日(日)に社会見学バス旅行(第1班)に行ってきました。施設開所後初めての外出行事で、今回はリクエストがあった仙台空港!飛び立つ飛行機を間近に観て、歓喜の声と大きく手を振りお見送り。そしてお気に入りのお土産を買ったり、ブレイクタイムでちょっと一息ついた後は空港を離れお楽しみの昼食へ。昼食は、食彩館ひまわりにてバーベキューを行いました。職員が汗をかきかき焼いたお肉を利用者の皆さんはあっという間に平らげていました。帰りの車中では寝顔も笑顔で、久しぶりの遠出の外出でリフレッシュしたようでした。次は2班、3班と控えています。次の報告もお楽しみに!



障がい見通所支援事業所

のびっくらんど悠悠 いわき市(平)

ペアレントプログラムが始まりました!

9月5日(火)から、いわき地区ののびっくらんど3事業所合同でペアレントプログラムが始まりました。「行動で見る」というポイントをもとに、川島慶子先生を講師に保護者さんに向けたプログラムを6回に分けて実施します。現在、2回のプログラムを終え、徐々に緊張もほぐれてきて、ペアになった保護者さん同士で、和やかに談笑する様子も見られました。限られた時間で自分や子供のことについて、考える中でポジティブな考え方・働きかけが増えるとういと思います!



障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

のびっこらんど いわき市(久之浜町)

ぐちゃぐちゃ遊び

9月9日(土)に今年度2回目の「ぐちゃぐちゃ遊び」をしました。音楽とアートの親子教室『Bell bloom』さんより小田千尋先生をお招きして開催しました!今回のテーマは「あき」です。秋らしい赤や黄色の絵の具がカラフルですね。

スポンジや手足で大きな紙を絵の具を塗ったり、手形や足跡をたくさんスタンプしました。お互いに絵の具が付いた手を見せて笑い合い、いつもとは違う絵の具を使った遊びにダイナミックに取り組んでいました。仕上げに画用紙を千切って葉っぱにし、木に貼ったり、床に散りばめたりして秋の風景を作り上げました。とっても楽しかったね!



のびっこらんど泉 いわき市(泉町)

モンスター制作

9月21日(木)~9月29日(金)ハロウィンに向けてモンスター制作をしました。好きな折り紙を自分で選んで自由にちぎり、丸シールで可愛いお目目を作り、ペンで口を描いたら完成です!色とりどりの可愛いモンスターが出来上がり、一足先にハロウィンを感じたのびっこ泉😊です。10月下旬にはハロウィンパーティーがあります!みんなでゲームしたり、仮装もしたりして、楽しみましょうね♪



のびっこらんど相馬 相馬市(中村)

地元のお店にお買い物

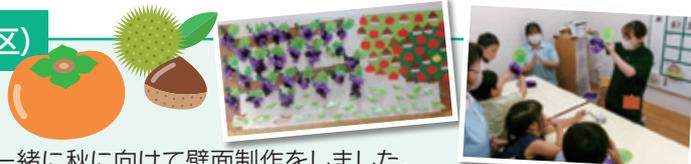
9月16日(土)、学童さんたちと相馬市の街中にある「ファーストナイトウ」に行ってきました。ふわふわのパンにお気に入りの具材を詰めてもらって、出来たてのサンドイッチを購入。ドキドキしながらもお金を渡す練習をして、ちょっぴり大人の気分♪を味わいました。住んでいる街にこんなステキなお店があったんだ~と発見があった買い物訓練、次はどんなお店に行こうかな~?



のびっこらんど愛愛 南相馬市(原町区)

秋の制作

8月21日(月)~8月25日(金)の一週間、実習の学生さんと一緒に秋に向けて壁面制作をしました。未就学児さんは花紙や手形でぶどうを、学童さんは折り紙で栗やりんご、バッタを作りました。最後に未就学児さんと学童さんの作品を合わせて、初秋らしい飾りが出来ました!



のびっこらんど原町 南相馬市(原町区)

みんなでおやつ

学童さんのグループ活動は「お友達と協力する」ことも大切な目標の1つ。この日は2人1組になって五平餅を作って食べました。お友達と交代でお餅をつくことで自分の役割や相手を意識できるようになることが狙いです。でも、一番大切なことは「みんなで楽しく!」、楽しい経験をたくさん積んで「またやりたい!」という意欲へと繋げています。



のびっこらんどキララ 相馬市(赤木)

利用者の作品見てください!素晴らしい!✨

ブロックや将棋の駒でロゴマークを作ったり、絵を描くのが好きな子は季節を表す絵をすごく上手に描いています。ビーズで作る作品やプラ板作りも行い、好きなキャラクターや好きなものを書いて皆で楽しい時間を過ごしています。



のびっこらんど田村 田村市(船引町)

季節の折り紙

9月第4週目の集団課題は「季節の折り紙」でした。角と角を折り合わせ、スティックのりで貼り付けました。5枚の折り紙を組み合わせてコスモスを製作!手先をしっかりと使って素敵なコスモスを折ることが出来ました。色とりどりのコスモスがのびっこらんど田村に明るく咲いています😊来園した際は玄関に飾ってありますのでご覧ください。



のびっくらんど美山 田村市(船引町)

おだんごづくり♪

9月18日(月・祝)におだんご作りの行事を行いました。初めてお団子を作るお子さんも多く、一生懸命に作りました。丸だけではなく、星や魚などすきな形を作るお子さんの姿も見られました。きなこ、あんこ、みたらし、チョコレートから自分の好きな味を選んで食べました。一番人気はチョコレートでした!



のびっくらんど三春 田村郡(三春町)

芝生でキッズヨガ!

スポーツの秋なので公園の芝生でヨガを行いました。外で大きく深呼吸!空気がおいしいですね。子ども達は、スタッフの動きをよく見て真似をしてくれました。ポーズは「木」「ヒーロー」です。ポーズをしたまま5回深呼吸をしたりポーズをとったまま静止したりとても上手でした!最後に芝生の上に寝そべてリラックスタイム。とても気持ち良かったです。



たむら地方児童発達支援センター 田村市(船引町)

芸術の秋!

9月11日(月)、秋の製作活動を行いました。低学年のお友達はきのこを製作しました。自分で用紙を選び、好きな色のシールをぺたぺた!カラフルなきのこがたくさん出来ました。上級生はぶどうを製作しました。画用紙を丸く切って、花紙を細く折って茎を作って…ぶどうの完成!出来上がった作品を飾り、玄関がすっかり秋色になりました♪



就労支援事業所・多機能型事業所

おおくま共生園 田村市(船引町)

～おおくま秋フェス・芋煮会～

9月21日(木)に26名の利用者さんと芋煮会を行いました。毎年恒例の行事で、今回はお肉も倍増、ごま油を隠し味とし好評でした。また、利用者発案の射的ゲームも行いました。豪華景品もあったので、みんな真剣に的を狙って大きな盛り上がりを見せました。「来年もやりたい!」等の声もあり、思い出に残る楽しい「秋フェス」となりました。



多機能型事業所 田村 田村市(船引町)

田村市スポーツ教室並びにスポーツ大会参加賞の準備中。

10月7日(土)、田村市総合体育館で行われた田村市主催の「スポーツ教室並びにスポーツ大会」の参加賞に当事業所のEM石鹸が選ばれました。参加人数分160セット(320個)の注文を受け、納品日に間に合うよう利用者さんが協力しあって準備しました。



せきれい いわき市(四倉町)

新メンバーがぞくぞく!!

新メンバーが4月3日(月)より3名、6月1日(木)より1名を利用開始しました。作業にも一生懸命参加し、徐々に慣れてきた様子です。新しい作業もがんばって覚えて、楽しい生活を送ってほしいですね。



ワークスペース・アシスト 南相馬市(原町区)

作業の合間に折り紙作成中(*^^*)
12月に開催される「みんなの作品展」で使用する事業所紹介のパネルの飾り作りをしています。手先が器用な方が多く素敵な飾りを作っています。展示されるのが楽しみです!(^^)



地域生活支援事業所

相双障害者就業・生活支援センター 南相馬市(原町区)

第2回在職者交流会

9月16日(土)「仕事の話や趣味の話」をテーマに女子だけの交流会(女子会)を行いました。参加人数は3名と少なかったですが、人数が少ないからこそ話ができたといい方もいたのかなという印象でした。女子ならではの、お風呂の話題で盛り上がりました。



相談支援相馬事業所 南相馬市(原町区)

フォローアップ実践研修開催

8月1日(火)、相双障がい保健福祉圏域連絡会の人材育成部会として、相談支援従事者のスキルアップを促進するため、「フォローアップ実践研修」を開催しました。この部会は、福祉人材の育成を地域で推進するために設立され、当事業所の職員が会長を務めています。

今回の研修では、「グループスーパービジョン」という支援者自身の課題を共有し、協力して解決する手法について学びました。地域の資源を活用するため、ファシリテーターも地域から協力を仰ぎました。当法人からは、「のびっこらんど愛愛」と「東洋学園成人部」の職員が協力しました。



相談支援田村事業所 田村市(船引町)

BCP策定研修会 参加

8月30日(水)、小野町多目的研修集会施設大ホールにて、当法人の田村地方基幹相談支援センター主催「第6回田村地方学び場 障害福祉サービス事業所等における業務継続計画(BCP)策定について」研修会に参加しました。

令和6年度より全ての障害福祉サービス等事業者へ義務化される業務継続に向けた計画等の策定・研修の実施・訓練の実施等について講義を受けた後、自施設の様々なリスクを想定する個人ワークやそのリスクへの平常時の対策について他施設の方々との意見交換ができ、「実効的な計画となること」を目標に、また相談支援事業として本人を中心とした「防災・減災」への取り組みを地域の方々と一緒にすすめていきたいと考えています!



田村地方基幹相談支援センター 田村市(船引町)

田村地域自立支援協議会 発足

7月19日(水)田村市役所にて、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の規定に基づき、今年度より田村市・三春町・小野町が共同して設置する「田村地域自立支援協議会 本会」が開催されました。

田村市・三春町・小野町の高齢化、少子化、核家族化、8050問題などの進展により、障害者とその家族、支援者に係る困難ケースが複雑化・多様化していることを踏まえて、当センターが設置された令和3年度より田村地方の地域課題解決を目指す田村圏域での協議の場を設けることを検討し、今回の協議会設置・開催へと繋がりました。

これまで以上に地域課題を協議する場が田村地方にはじまります!



相談支援双葉事業所 いわき市(四倉町)

『性の多様性 LGBTQと福祉について』研修会に参加してきました。

隔月で行われている『双葉郡福祉研究会』に参加しました。

今回のテーマは『性の多様性 LGBTQと福祉について』です。

講師より多様な性の基礎知識を皮切りにLGBTQと福祉の講義を受けた後、グループワークを行いました。講義部分ではLGBTQ当事者の方が行政・福祉サービス利用時、《支援者の無理解による困難》を経験した人は50%弱いることが驚きでした。グループワークではカミングアウトを受けた際の対応についてなど話し合いをし講師からその際のポイントについて解説がありました。

誰もが使いやすい福祉サービスになる様、個人として、事業所として取り組んでいきます。



『虹のリボン』とは

LGBTの尊厳と、社会運動のシンボルとして作られた旗です。

1978年、「サンフランシスコ・ゲイ・フリーダム・デイ・パレード」で使われ始め、世界に広まりました。虹色の各色には、セクシャリティ、生命、癒し、自然といった意味が込められています。

また、虹色のリボンなど身に付けているとLGBTQの方へ『理解があります』といった意味にもなるそうです。

管理者としての施設運営の思い

「あぶくま更生園」 施設長 / 三瓶 直人

(グループホーム富岡事業所 管理者兼務)

あぶくま更生園の施設長になり、15年目を迎えました。何よりも現場を支える職員、保護者ひとりひとりに改めまして感謝申し上げます。特に、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所における放射能漏れ事故・避難は、この15年の中で忘れようにも忘れられません。利用者と共に避難所を転々とし、千葉県鴨川市での避難生活、福島県に戻っても仮設での不自由な生活等々、言葉では言い表せないものがありますが、保護者の望むところは、安全・安心、変わらないところにあると思っています。

「再建」とは一言ですが、再建するにもゼロからのスタートではなく、マイナスからのスタートでした。経験豊富な職員が退職し、新人、未経験者となり、保護者も気が気ではなかったことと思います。施設管理者としての「使命感」「思い」「愛着心」等々、具体的に施設に注ぎ込むこと、他の施設には及ばないところ等々、ジレンマと忸怩たる思いに悩みましたが、施設長が、自分の背中を示し、施設に安心感を持ってもらうこと、また、以前「選ばれる施設」ということを良く耳にしました。閉鎖的になりがちな入所施設において、外部の「目」を取り入れるため、実習生や学生ボランティアの受け入れを積極的にに行い、かつ、真摯に受け止め施設全体への刺激としました。幸い、その中から職員として勤めたい希望も数多く出るようになり現在に至りました。何より職員がその趣旨を理解し、指導、対応した結果だったと思っています。

最後に、今後の法人、施設運営において、一職員として道程は遠いのですが、「あるべき姿」、「求められる姿」を追求できればと思います。



「のびっこらんど原町」 所長 / 野倉 一美

のびっこらんど原町は平成30年4月より事業を開始しました。自然豊かで静かな土地に子供たちの賑やかな声が響くようになり、地域のみなさんからは「子供の声が聞こえて元気になる」「どんな所なのかわからない人に、教えたよ」など温かい言葉をいただいています。

現在、2歳から小学校6年生までのお子さん1日平均10名が通っています。それぞれのお子さんに「ことば」「手先・運動」「コミュニケーション」などの目標があり、楽しみながら課題をクリアするため、日々活動に取り組んでいます。「実際に経験

する」ことを大切に考え、制作やお菓子作りなど子供たちが体験する活動を多く取り入れるよう心がけています。

開所から5年、開かれた事業所を目指し地域交流も大切にしています。毎年1~2回誰でも遊べる1日として「事業所開放日」を設けています。コロナの影響で規模を縮小した時期もありましたが、今年はコロナ前の状態に近い形で7月22日(土)に開催しました。遊び場の提供だけでなく、子育ての困り感や発達の心配などの相談にも応じています。ホームページ等で開催のお知らせを致しますので、ぜひ遊びに来てくださいね！



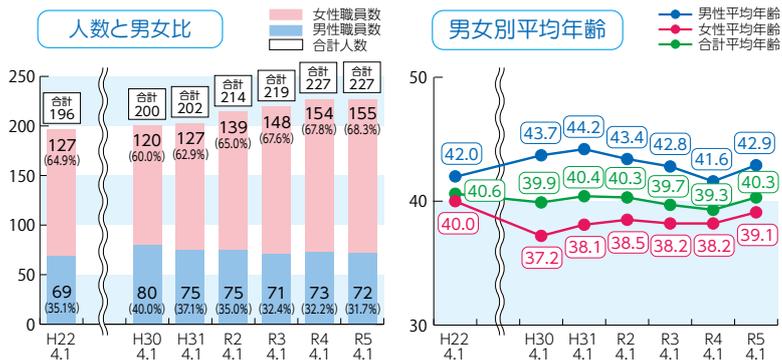
「事業所開放日」の1コマ



「調理実習」の食卓タイムです

職員の概況

令和5年4月1日現在の職員の概況を平成30年からと震災前の平成22年と比較してみました。(人数、年齢ともに大きな変化はないようです。)



「そうま楽憩園」より



令和5年7月1日(土)に障害者支援施設「そうま楽憩園」が、相馬市赤木地区(原町学園の東側)に開所となり約4か月が経ちました。それぞれから集まった利用者さんも、同じ釜の飯を食うではありませんが、友達の輪も大分広がってきたように思います。これからいろんな活動を通しみんなで思い出を作っていきたいと思います。

改めまして、そうま楽憩園をどうぞよろしく願いいたします。

〈入職者〉

- 東洋育成園 支援員 植野 牧
- 東洋健生園 理学療法士 草野 圭一郎
- 相馬事務センター出納職員 江上 久美子
- いわき事務センター出納職員 谷口 章
- ワークスペース・アシスト 支援員 野口 蜜
- 相双障害者就業・生活支援センター 生活支援等事業 生活支援担当 川村 香代子
- 東洋学園児童部 看護師 藤原 章子
- ワークスペース・アシスト 支援員 星野 剛



◎法人の施設・事務所について、視点をかえて5か所を記事にしました。御意見を寄せください。

◎今年度の広報委員です。どうぞよろしくお願いいたします。



(6/13の「広報委員会議」終了後に撮影)